【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第３区分
【発行日】平成18年11月24日(2006.11.24)

【公表番号】特表2006-515441(P2006-515441A)
【公表日】平成18年5月25日(2006.5.25)
【年通号数】公開・登録公報2006-020
【出願番号】特願2004-544311(P2004-544311)
【国際特許分類】
Ｇ０６Ｆ　21/24　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０６Ｆ　12/14　　５５０Ａ
Ｇ０６Ｆ　12/14　　５６０Ｂ

【手続補正書】
【提出日】平成18年10月6日(2006.10.6)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
装置に最後に提供されたアイテムを記憶することが意図されるアイテムのリストを記憶し、Ｎを自然数としてＮ個のアイテムを記憶可能な装置であって、
ＭをＮ以下の自然数として、当該装置に最後に提供されたＭ個のアイテムを連続的に記憶するために設計される第一のメモリと、
Ｎ－Ｍ個の他のアイテムを記憶することが意図される第二のメモリとを備え、
当該装置は、前記第二のメモリが最大の記憶量であるときであって、新たなアイテムが記憶されなければならないとき、前記第二のメモリに記憶されているアイテムをランダムに選択し、この選択されたアイテムを移動し、当該装置に提供された新たなアイテムを記憶する役割を果たす手段を更に備える、
ことを特徴とする装置。
【請求項２】
当該装置に最後に提供されたアイテムが当該装置に既に存在するかを示す情報を供給するために適合される、
ことを特徴とする１記載の装置。
【請求項３】
記憶されたそれぞれのアイテムの１つのコピーを含む、
ことを特徴とする請求項１記載の装置。
【請求項４】
アイテムが当該装置に提供された回数をそれぞれのアイテムと共に記憶する、
ことを特徴とする請求項１記載の装置。
【請求項５】
当該装置に最後に提供されたアイテムが、予め決定された数を超える回数について当該装置に既に提供されているかを示す情報を供給するために適合される、
ことを特徴とする請求項４記載の装置。
【請求項６】
請求項１記載の装置にアイテムを記憶する方法であって、
前記装置に提供されたアイテムを受信するステップと、

前記アイテムが前記装置に既に存在するかを確認するステップと、
前記確認するステップで前記アイテムが前記装置に既に存在する場合、前記アイテムを最後に記憶されたアイテムとして指定するステップと、
前記確認するステップで前記アイテムが前記装置に既に存在しない場合、前記アイテムを前記装置に記憶するステップと、
を備えることを特徴とする方法。
【請求項７】
前記確認するステップで前記アイテムが前記装置に既に存在しない場合、
前記第一のメモリが最大の記憶量でない場合、受信されたアイテムは前記第一のメモリに記憶され、
前記第一のメモリが最大の記憶量である場合、前記第一のメモリに記憶された最も古いアイテムが前記第二のメモリに転送され、受信されたアイテムが前記第一のメモリに記憶され、前記第二のメモリが最大の記憶量である場合、前記第二のメモリに記憶されたアイテムは、前記第一のメモリに記憶された最も古いアイテムが前記第二のメモリに転送することができるように、ランダムに選択されて、移動される、
ことを特徴とする請求項６記載の方法。